

総会決議

J R関西本線は、伊賀地域を東西に結ぶ地域住民の重要な移動手段であるとともに、名古屋大阪間を最短距離で結ぶ国土幹線上の重要な路線ですが、亀山加茂間が非電化のままであることから、名古屋、大阪、京都方面からの直通運転が出来ず、利便性、高速性に欠け、関西本線が本来持っている利点を生かしきれない状況が続いています。

沿線地域の定住及び交流人口の増加や観光誘客、さらには中部・近畿圏内における広域交流圏の形成への寄与など、周辺地域の活性化に資するため、都市圏への直通運転と線区の活性化が強く望まれます。

加えて、地球温暖化など環境問題への対応が喫緊の課題となっており、また地震などの自然災害が危惧されるなか、一部の区間の途絶が全体の機能不全につながるよう、交通ネットワークを多重化する観点からも鉄道路線の重要性はさらに増してきております。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により移動需要が変化したとしても、鉄道路線の重要性は損なわれるものではありません。

これらのことから、沿線地域の活性化のため、亀山加茂間の電化、特に柘植～伊賀上野間の早期着手を図るべく、住民への啓発活動やJ R西日本との連携による沿線観光PR等情報発信により利用者の増加を図り、鉄道事業者等関係機関との相互理解による信頼のもと、互いに連携協力及び研究しながら取り組むこととします。

よって、J R関西本線利用促進と電化を進める会は、次に掲げる事項を決議します。

- 1 沿線住民に対する啓発活動を行うこと。
- 2 鉄道事業者等との連携、協力のもと、広告媒体を活用した関西本線沿線の情報発信を展開し、利用促進を図ること。
- 3 運行本数の維持、ICカード利用区間の拡大に伴う駅設備の整備や他線区との接続時間改善等による利便性の向上を図ること。
- 4 J R草津線等との連携により、都市圏への直通運転を実現すること。
- 5 亀山～加茂間の電化、特に柘植～伊賀上野間の早期着手を実現すること。

2020（令和2）年12月

J R関西本線利用促進と電化を進める会